

河川伝統技術名称：**二線堤**（現在の活用事例）

分類：二線堤

河川名：鳴瀬川及び吉田川合流点

都道府県／地先：宮城県／鹿島台町他



鳴瀬川・吉田川と計画二線堤



昭和61年氾濫被害と計画二線堤の位置

資料：「日経 コンストラクション」'97 11-28

（概要）鳴瀬川と吉田川に挟まれた鹿島台町・大郷町・松島町は、古くから水害に悩まされてきた。昭和61年8月の洪水でも未曾有の災害に見舞われたが、建設省、宮城県、地元町が一丸となって復興に努めた。さらに昭和63年、建設省では「水害に強いまちづくり事業」をスタートし、当該地域を全国唯一の地域に指定。側帯・二線堤・水防災拠点・避難路などの総合的な整備をはじめ、末端家庭まで警報システムとして防災無線の整備を図るなど安全な町づくりを目指すこととなった。